



井上 崇秀さん (石材施工)

墓 石の販売・加工、リフォームなどを手掛ける井上石材店三代目の井上さん。山から切り出された無加工の石から、ノミと金づちだけで墓石を彫り上げることができる「石の匠」だ。

地元高校を卒業後、日本三大石材産地の一つ、愛知県岡崎市へ。石材店で働く傍ら、夜は専門校で4年間腕を磨いた。帰郷してからは父のもとで研さんを積み、31歳のとき、第1回全日本石工選手権大会で日本一に輝いた。

石材加工の世界でも機械化が進むが、手加工へのこだわりは強い。中でも、仏座などに施される装飾技法「蓮華」は自身の真骨頂。花卉一つ一つの先端を反らせ、ハスの花の美しいウエーブを立体的に仕上げている。硬い石が思い通りの形になったときの達成感は大い。

休む間もないほど多忙な毎日だが、60歳になったら、趣味で始めた陶芸に打ち込むことを楽しみにしている。

新居浜ものづくりマイスターを紹介

産業振興課 ☎ 65-1260

未来へつなぐ名工の技

市のものづくり産業を支える卓越した技能や技術を持った人を「新居浜ものづくりマイスター」に認定しています。今回は令和3年度に認定された2人を紹介します。

11月30日(水)まで、令和4年度ものづくりマイスター候補者の推薦を募集しています。詳細はHPをご確認ください。



HPはこちら

荷 物の運搬やトラックからの積み下ろしなどに使われる車両・フォークリフト。ロジスネクスト四国新居浜支店では、大型フォークリフトを中心に、年間1,500台近くの点検・修理業務を請け負う。寺久保さんはサービス課のトップとして、管理業務や若手育成に当たっている。

フォークリフトは性能や操作方法によってさまざまな種類があり、断線、油圧漏れなどトラブルの原因も千差万別。設備の整っていない場所で作業するケースも多いが、豊富な知識と経験から迅速に原因を究明し、早期復旧につなげている。頑丈なためか雑に扱われがちだが、少しでもきれいにしたいと、掃除やはけ塗りなど、ちょっとした一時間も欠かさない。

自動車整備と共通点が多い仕事だが、知名度は格段に低い。顧客満足度を高め、会社の知名度を上げることで、仕事の魅力を多くの人に知ってもらうことが目標だ。



寺久保 顕司さん (産業車両整備)